

Exchange 移行後の ESA の SMTP 許可エラー

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

このドキュメントでは、Microsoft Exchange Server バージョン 2003 から Microsoft Exchange Server バージョン 2010 (SP3) への移行後に Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) で発生する、AsyncOS バージョン 7.5.1-102 から Exchange Server への Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) 認証が失敗するという問題について説明します。

問題

注: このドキュメントでは、SMTP 認証転送プロファイルおよび Simple Authentication and Security Layer (SASL) ログイン メカニズムを使って ESA が正しく設定されていることを想定します。

リモート ユーザが ESA に接続して SMTP 認証を使用する場合、ESA はクレデンシャルを使用し、それを内部 SMTP サーバに転送します。この場合、SMTP サーバは SMTP 認証クレデンシャルを受け入れず、メール ログ ファイルで次のような SMTP 認証エラーが発生します。

```
Mon Feb 24 12:42:10 2014 Info: New SMTP ICID 20207685 interface Data 1A
(172.17.1.56) address 30.98.71.119 reverse dns host unknown verified no
Mon Feb 24 12:42:10 2014 Info: ICID 20207685 ACCEPT SG AUTHENTICATED match
10.98.0.0/16 SBRS 5.1
Mon Feb 24 12:42:10 2014 Info: SMTP Auth: (ICID 20207685) could not reach
forwarding server 172.17.1.248
Mon Feb 24 12:42:10 2014 Warning: SMTP Auth: could not reach forwarding server
172.17.1.248 with reason: No ESMTPL AUTH keyword was presented.
Mon Feb 24 12:42:10 2014 Info: ICID 20207685 lost
Mon Feb 24 12:42:10 2014 Info: ICID 20207685 close
```

解決策

この問題の原因は、Exchange Server 上の受信コネクタの設定です。この問題を解決するには、Exchange Server 上の認証および受信コネクタが **anonymous** として設定されていることを確認してください。

ヒント： 詳細については、Microsoft Exchange の記事「[受信コネクタの匿名の中継を許可する](#)」を参照してください。